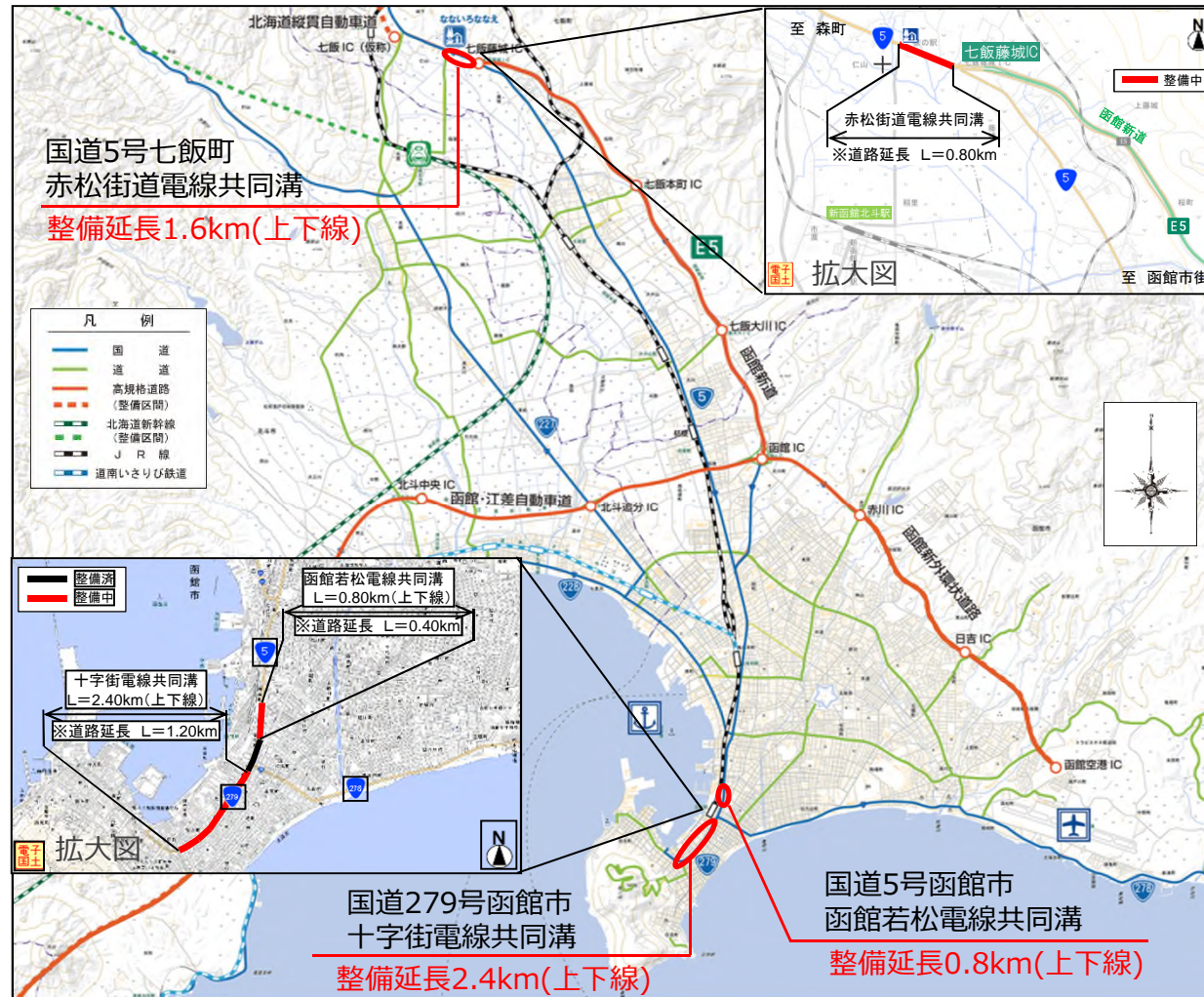
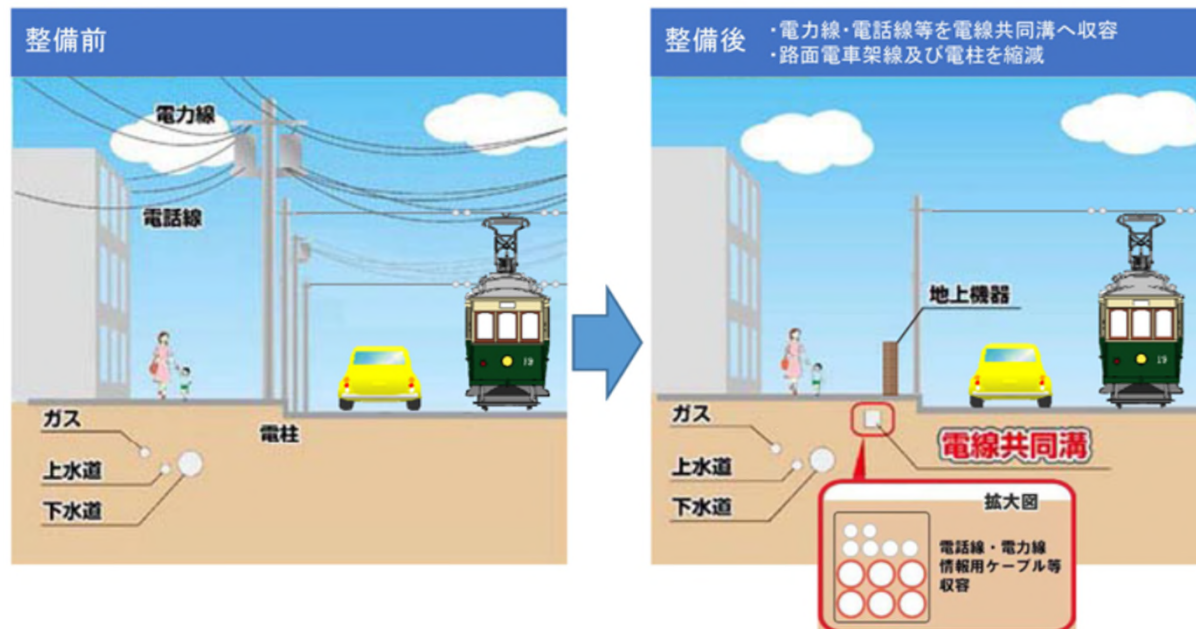


函館開発建設部では、市街地の幹線道路や安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観・住環境の形成、災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上、歴史的街並みの保全、観光振興、地域文化の振興、地域活性化等に資する箇所において、無電柱化を進めています。



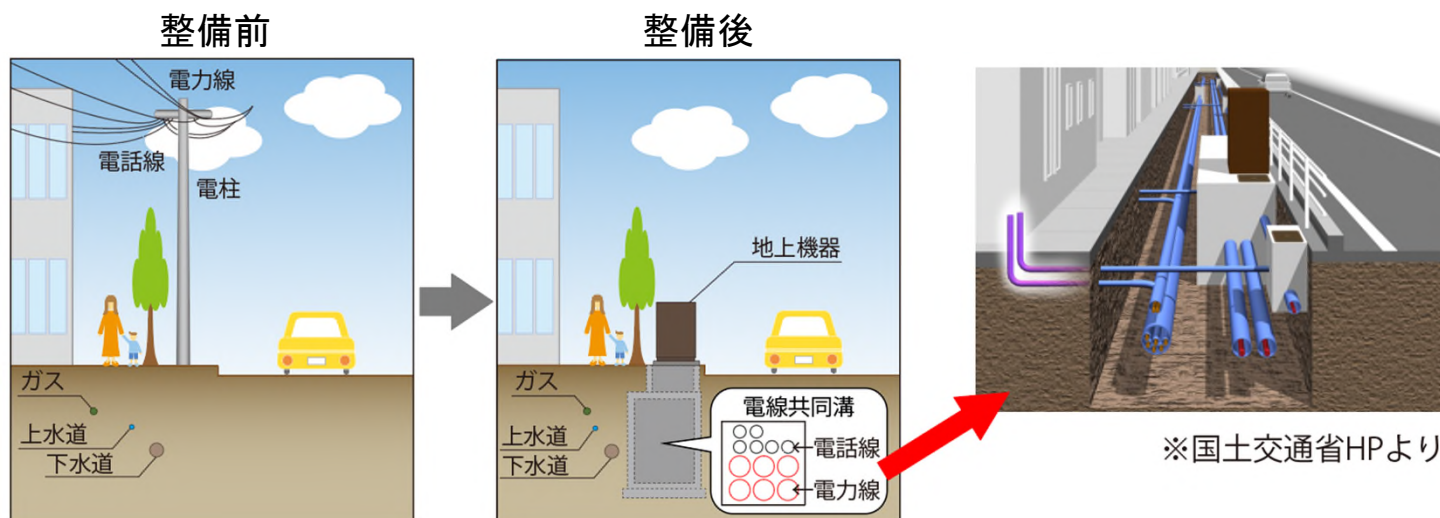
【電線共同溝の整備イメージ】



【無電柱化の整備効果】

- 1.地震時の電柱倒壊による道路閉塞がなくなり、災害に強い街になります！
- 2.電柱が無くなり、歩行者が快適に通れるようになります！
- 3.電柱が無くなり、街並みが美しくなります！
- 4.災害等による断線がなくなり、電力・通信の安定供給につながります！

【電線共同溝の整備イメージ】



- ・電力線、電話線等を電線共同溝へ収容
- ・電柱を縮減

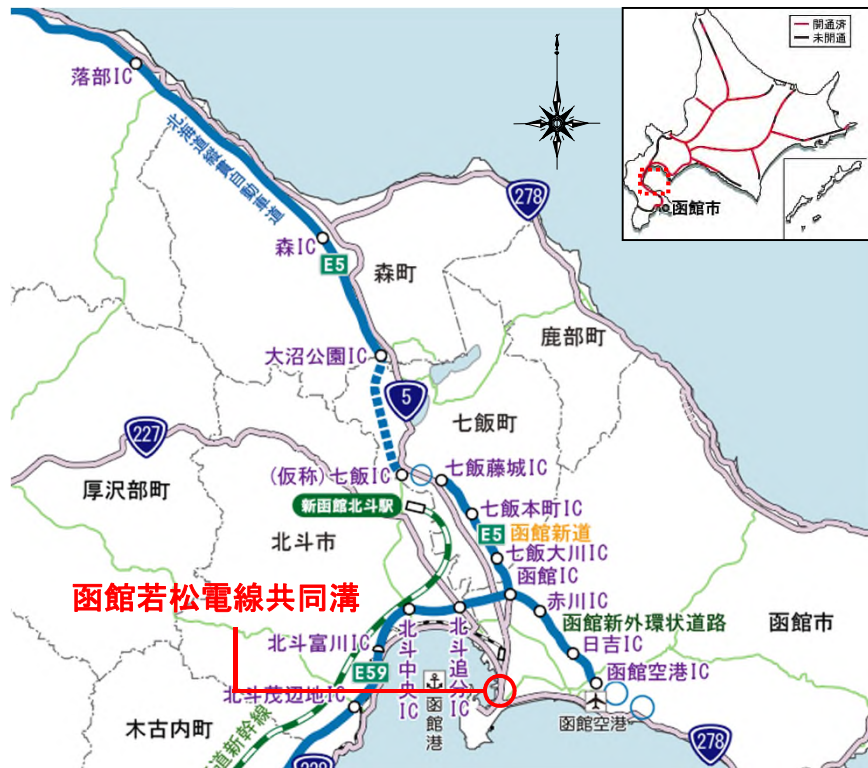
【無電柱化の整備効果】

- 1.地震時の電柱倒壊による道路閉塞がなくなり、災害に強い街になります！
- 2.電柱が無くなり、歩行者が快適に通れるようになります！
- 3.電柱が無くなり、街並みが美しくなります！
- 4.災害等による断線がなくなり、電力・通信の安定供給につながります！

■ 事業の概要

国道5号函館若松電線共同溝は、道南圏の圏域中心都市である函館市中心部に位置するとともに、函館市都市計画マスタープランにおいて、無電柱化促進区間に位置づけられており、バリアフリー重点整備地区の特定道路に指定されていることから、電線共同溝を整備し無電柱化することで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものである。

■ 位置図



■ 平面図



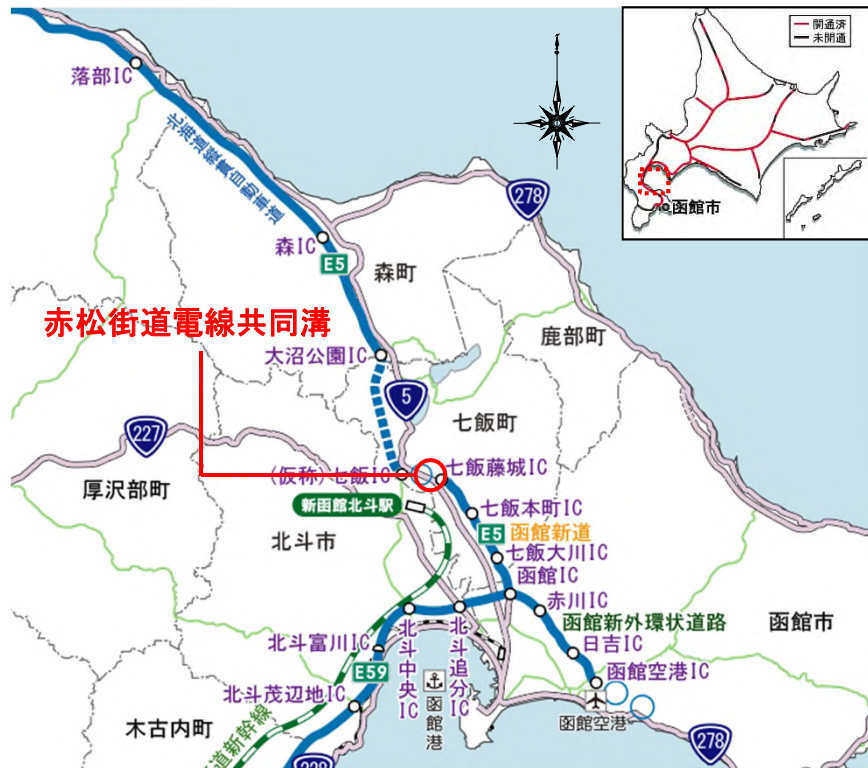
R5 函館若松電線共同溝整備イメージ



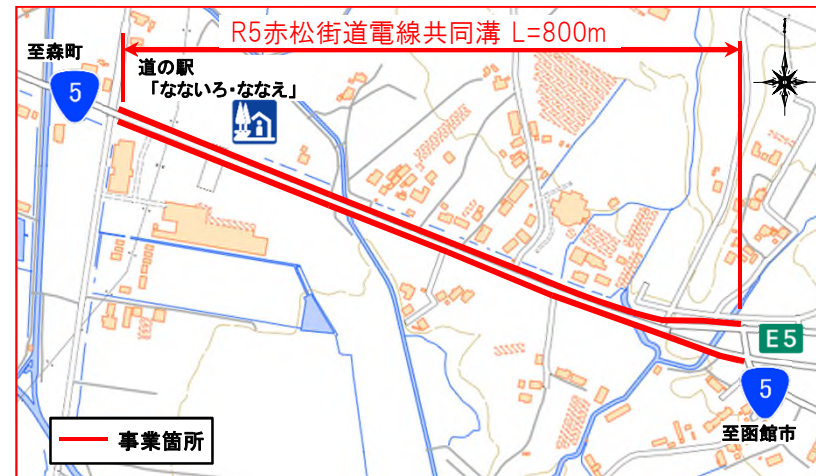
■ 事業の概要

国道5号赤松街道電共同溝は、国道5号函館新道、北海道新幹線新函館北斗駅、「道の駅」が集まる交通の要衝に位置するとともに、七飯町地域防災計画において「道の駅」が指定緊急避難場所に指定、七飯町都市計画マスタープランにおいて観光産業経済路線として位置づけられていることから、電線共同溝を整備し無電柱化することで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものである。

■ 位置図



■ 平面図



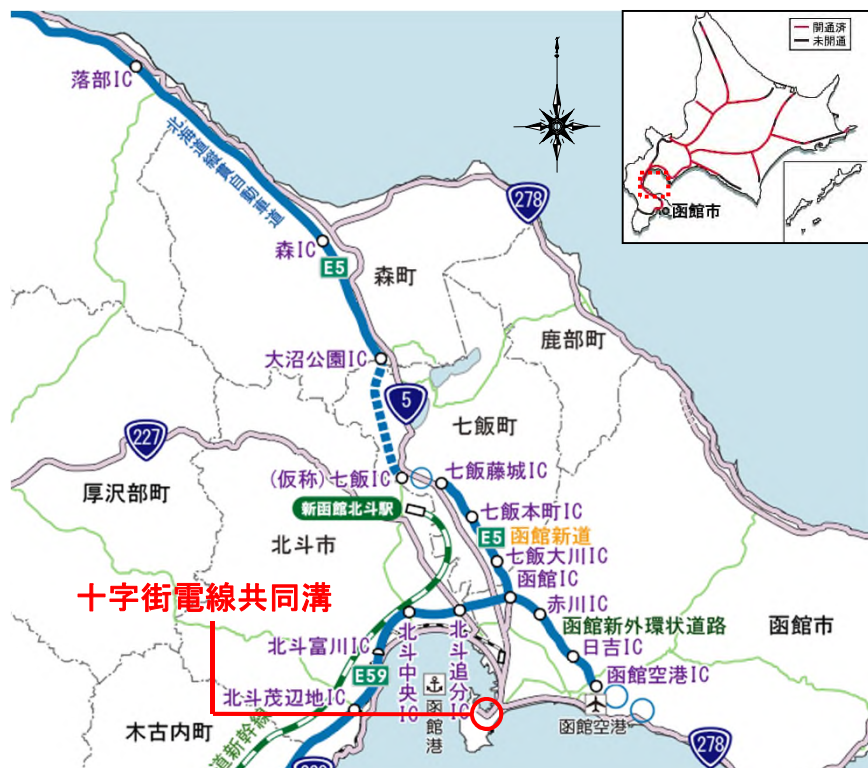
R5 赤松電線共同溝整備イメージ



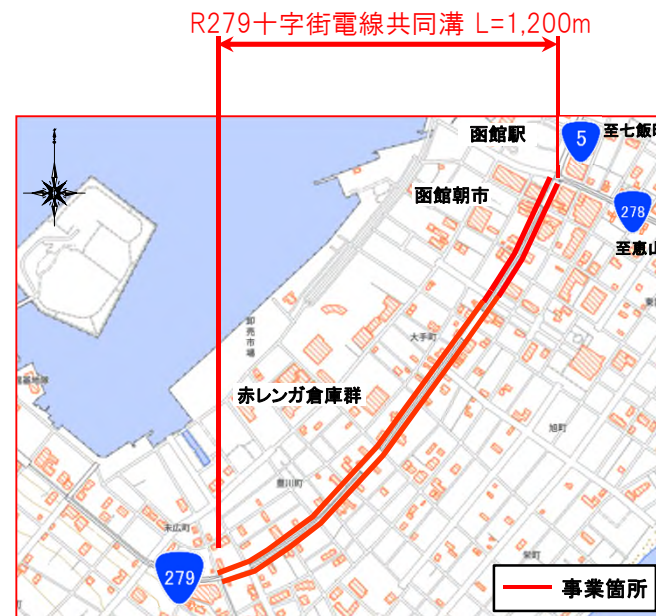
■ 事業の概要

国道279号十字街電線共同溝は、道南圏の圏域中心都市である函館市中心部に位置するとともに、函館市都市計画マスタープランにおいて、無電柱化促進区間に位置づけられており、バリアフリー重点整備地区の特定道路に指定されていることから、電線共同溝を整備し無電柱化することで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものである。

■ 位置図



■ 平面図



R279 十字街電線共同溝整備イメージ

